

主なる鹵獲品

各種火砲 一、二一

同彈藥約

八六九〇〇

重輕機關銃約四一五〇

同彈藥約

一、四七四〇〇〇

小銃 約一五八五〇〇

同彈藥約一、六五四〇〇〇

船舶 約一六〇〇〇噸

(五七三一)

六〇六六 帝國海軍航空部隊プロツクス・クリーク再空襲 大本營發表に依れば帝國海軍航空部隊は再び北濠洲プロツクス・クリークを攻撃し、敵戦闘機十六機を撃墜、同重爆撃機七機を地上撃破、軍事施設五箇所を爆破炎上せしめた、我方未歸還機一

(五九九六)

六〇六七 黒海に於る獨ソ海戦 獨軍筋の言明に依れば夜黒海を哨戒中の獨輕艦隊はコーカサス沿岸で砲艦より成るソ聯艦隊と遭遇戦を行ひ赤軍艦艇三隻一七〇〇噸を撃沈、獨海軍には損害はなかつた (五九九七)

六〇六八 芬軍の赤軍飛行機撃墜數 フィンランド軍司令部は一九三九年末赤軍との開戦以來現在迄にフィンランド軍は赤軍飛行機二千を撃墜した旨發表した (四九二〇)

六〇六九 伊官民智引揚 駐チリ―伊大使ネロ以下チリ―引揚伊

人六十八名は特別列車でサンチャゴ出發アルゼンチンに向つた

(六〇四三)

六〇七〇

米五月中の軍需生産狀況　米戰時生産局長官ネルソンは五月中に於る米軍需生産狀況に就て、五月中に於る軍需生産は量數に於ては四月と大差ないが或部門に於ては四月に稍劣つて居り、海軍に引渡された海軍艦艇は豫定の二十萬噸を遙かに越えて居るが商船の引渡量は百八十萬噸と豫定されてゐたが四％方減少し、陸軍關係地上火器に於ては四月より三％、其の他の軍需品に於ては七％夫々減少した旨の第十一回月次報告書を發表した

(五九一七)

六〇七一

米商品金融會社延長法案上院否決　米上院は下院より回付された商品金融會社延長法案を三十六票對二十八票を以て否決した

(六〇四〇)

六〇七二

英ド・ゴール派機關誌發行禁止　英情報省はド・ゴール派機關誌ラ・マルセイエーズ誌が米英兩國の佛解放委員會に對する干渉を論難したため同誌主幹に對し同誌の發行を禁止する旨通告した

(五七四三)

六〇七三 駐佛トルコ大使更迭 トルコ外務次官シエヴキ・パ
カーがベヒツチ・エルキンに代りヴィシ駐劄トルコ大使に任
ぜられた (五九三四)

七月七日 水曜日

六〇七四 帝國海軍航空部隊ルピアナ島空襲 大本營發表に依れ
ば帝國海軍航空部隊はニューチヨーチア島ムンダ Munda 南方の
ルピアナ Ropiana 島に進出し來れる敵を攻撃、敵陣地全面に大火
災を生ぜしめ其の上空に於て敵戦闘機三十一を撃墜した、我方
未歸還機四 (六〇六二)

六〇七五 米機廣東に來襲 午後三時五分二十餘機の戦爆連合よ
り成る在支米空軍が廣東省黄埔に來襲したが我航空部隊の邀撃
に遭ひ其の二機を撃墜せられた、我方の損害皆無(五四七五)

六〇七六 米クラ湾夜戦の損害發表 米海軍省はニューチヨーチ
ア島の西北クラ湾に於る日本海軍との海戦(六〇五四)に於て
米輕巡洋艦ヘレナ號 Helena 一萬噸が沈没、米艦四隻が損傷を蒙
つた旨發表した (五九六〇)

六〇七七 獨東部戦線戦況 獨總統大本營は獨軍がビエルゴロド

とオリヨール南部の兩地區に於て赤軍陣地深く突入した旨發表した (六〇五五)

六〇七八 歐洲空襲に因る米英機喪失高 英空軍省は六月中に於る獨本土及獨占領地空襲に因り喪失した反樞軸側飛行機は英機二七六、米機八二である旨發表した (五八六七)

六〇七九 チロル將軍華府着 佛領北阿政權佛解放委員會委員長チロル將軍は米陸軍機で華府に到着、直に白聖館に口大統領を訪問した (六〇三九)

六〇八〇 マルチニツク總督更迭 佛領北阿政權佛解放委員會は、マルチニツク島ロベル總督の要請に應じ陸軍准將ジャコビ(Jacoby)を同島總督に任命した旨發表した (六〇三七)

六〇八一 米驅逐艦二隻進水 米海軍省發表に依れば驅逐艦ヒコツクス、ヒーリーの二隻がニュージャーシー州のカーニーに於て進水した (五七一五)

六〇八二 南阿聯邦に於る總選舉 南阿聯邦が今後も依然戰爭を繼續するか又は中立政策を採擇するかを決定する開戦以來最初

六〇八三 の總選舉が全圖一齊に施行せられた
シヤル・ニユーズ紙は、今年に入つて三回に亘る炭坑罷業に因

り米は既に少くとも十七萬噸の鋼鐵を喪失し、本年一月から六月迄の上半期に於る製鋼高は昨年より僅々二%の増加に止まり、先週の生産高は一九四〇年以來の最低率を示してゐる旨及七月一日に戰時生産局が發表した鋼鐵生産一箇年九千百萬噸計畫は石炭竝に骸炭の不足に因り到底實現不可能なる旨を述べてゐる (五九一七)

六〇八四 商品金融會社延長新法案上院可決 米上院は新商品金融會社延長法案を三十二票對三十一票を以て可決下院に回付した (六〇七一)

六〇八五 米大統領法案拒否權撤廢法案 プエノスアイレス七日發同盟電に依れば米下院法制委員長民主黨議員ハットン・サムは大統領の議會通過案に對する拒否權撤廢に關する憲法修正案を最近下院に提出した (六〇二七)

六〇八六 英國債總額竝に徵稅狀況 英大藏次官アシユトンは下

院に於て國債總額が百七十七億磅に達した旨發表した、右に引
續き藏相キングスレー。ウツドは一九四二年度に於る英の課税
額は全個人収入の約四割に達し、一般國民は全収入の約三分の
一を各種の租税として支拂つた旨を述べた (五二五九)

六〇八七 英運輸省代表遭難 英政府當局は亡命ポーランド首相
シコルスキの遭難飛行機に英戰時運輸省代表ロツクが同乗墜
死した旨發表した (六〇四八)

六〇八八 訪獨トルコ軍事使節團歸國 訪獨トルコ軍事使節團一
行は空路イスタンブールに到着した (五九四〇)

六〇八九 東條首相ジャカルタ着 東條首相は午前ジャワ島のジ
ヤカルタに到着、正午原田最高指揮官と會見した (六〇六〇)

六〇九〇 比島泰國間電報取扱開始 比島と泰國間に於て公衆電
報の取扱が開始せられた、電文は和文に限られ料金は私報一語
五十錢、泰國側は當分バンコックのみである (六〇一七)

六〇九一 本年上半期政府資金撤布超過額 本年上半期に於る政
府資金撤布超過額は五十一億九千九百萬圓で前年同期に比較し
て一億六千二百萬圓の微増に止まつた旨大藏省から發表せられ
た (四一九)

七月八日 木曜日

六〇九二

海南島に於る帝國海軍部隊戦果

海南島に於る帝國海

軍部隊は二月二十一日以來同島西北部山岳地帯に於る敵本據を
攻撃し六月下旬迄に左の戦果を収めた旨大本營から發表せられ
た

遺棄死体

九五〇〇

投降者 三六〇〇

鹵獲品

小銃

三二〇〇

機關銃拳銃類

二九〇

手榴彈

一八六六

戒克船拿捕

九〇

六〇九三

山東方面の治安に關する畑總司令官談

畑總司令官は

山東地區第一線部隊を視察し六月二十八日歸寧本日記者會見に
於て、山東方面の治安狀況に就て、近頃中國側も漸次我對支方
針の精神を諒解し我方に對する信頼と協力は月と共に倍加し省
政府も自力施政の責任の重大を自覺し我方との連絡は緊密とな
り農作物の大豊作と相俟つて治安は劃期的に明朗化せんとして
ある旨を述べた (五〇一六)

六〇九四

印度獨立聯盟印度國民軍編成發表

インド獨立聯盟は、

同聯盟に屬し討英獨立を目標とするインド國民軍（アザット・

ヒンド・パウジ)が志願兵制度に基き編成せられた旨發表した

(六〇六三)

六〇九五 開戦以來の英空軍の損失 英情報省は開戦以來世界各戦線に於る英空軍の損失は九千九百六機である旨次の如く公表した

英本國上空戦九〇〇 歐洲上空戦五三五七 中東戦一九七七

チュニジア戦七九五 (反樞軸空軍の損失) ソ聯上空 一

東亞、印度、ビルマ戦一四九 西部戦線三七九 スカンデナヴィア戦五五

其の他歐洲上空戦二九三

計 九九〇六 (六〇二二)

六〇九六 米陸軍飛行機の新標識 米陸軍省當局は、米陸軍飛行機は敵機と誤認されないため、翼に青地の圓に白い星を浮出させ、圓形の外郭に赤い縁取のある新標識を用ひる事となつた旨發表した

六〇九七 土シリア國境再開鎖 トルコ、シリア間の國境が再び

シリア側に於て閉鎖せられた (五八七三)

六〇九八 駐英ソ聯大使離任 駐ソ聯大使イヴァン・マイスキ

は空路ロンドン發モスクワに向つた

六〇九九 米商品金融會社延長法案 米商品金融會社延長法案は

上下兩院協議會に附されたが上院は本日助成金使用に何等の制限を付せずこの動議を三十四票對三十三票を以て可決したる結果下院案が兩院を通過して白聖館に回付された (六〇八四)

六一〇〇 米小麥粉の輸出停止 米政府當局は、政府は米國民の

戰時食糧を確保するため今後小麥粉の輸出を停止し一九三六年以降支給されてゐる輸出業者に對する法定助成金は直ちに中止する旨發表した (五八二〇)

六一〇一 罷業に因る米製鋼高の減少 米戰時生産局は米製鋼高が炭坑罷業のため六月二十八日に始まる一週間 に於て前週に比較して十二万六千四百噸の減少を示した旨發表した (六〇八三)

六一〇二 米チリ産の銅全額購入 米チリ一兩國政府代表は在サンチャゴ米大使館に於て協議を遂げた結果、今後チリ産の銅は國內消費用の三千噸を除き殘額全部を米國に輸出することとなつた旨發表した (五六九〇)

六一〇三 英智通商協定延長

六月三十日を以て期限満了した英

チリ―通商協定は更に一箇年延長せられた

六月中に於る内國債發行額は二〇

六一〇四 六月末現在國債高

四五六五四千圓、償還額は四千圓で六月末現在の内國債合計は

五九五〇七五一〇千圓、外國債を含む國債總額は六〇七二八、九

八三千圓となる旨大藏省から發表せられた (四五四〇) 企業整備資金措置

六一〇五 企業整備資金措置法施行規則公布

法が十五日から實施せられることとなり、右に關する關係十省の省令企業整備資金措置法施行規則が公布せられた、本法と同じく十五日實施せられる (五八九五)

七月九日 金曜日

六一〇六 帝國海軍航空部隊レンドバ港空襲

大本營發表に依れ

ば帝國海軍航空部隊は晝間レンドバ港を空襲、敵二十機と交戦、

其の五機を墜せ、上陸用舟艇六隻を撃沈した (六〇七四)

六一〇七 反樞軸軍シチリア島に上陸作戦

伊軍司令部並に獨逸海軍司令部に依れば反樞軸軍は夜有力なる海空軍の援護下に

統大本營發表に依れば反樞軸軍は夜有力なる海空軍の援護下に

シチリア島攻撃を開始し目下同島東南沿岸一帯に於て艦隊軍と
交戦中である (六〇四七)

六一〇八 獨海軍のアゾフ海に於る戦果 獨海軍輕艦隊は夜アゾ
フ海岸のアチユイエフ港を砲撃、港内のソ聯艦艇三隻を撃沈、
三隻を撃破し數箇所の彈藥庫及燃料庫に火災を生ぜしめた、獨
側の損害は輕微である (六〇六七)

六一〇九 米陸軍の動員狀況 ブエノスアイレス九日發同盟電に
依れば米議會は陸軍豫算審議に際し陸軍當局及人的資源委員會
當局が議會で行つた左記の如き要旨の米陸軍動員計畫に關する
證言内容を最近發表した

一、米陸海軍兵力は六月末に於て九百二十万に達する
一、右の内陸軍兵力は七百十六万千六百二十一で、此れは本年末
には八百二十万に達しよう

一、今後作戦計畫に重大變化なき限り陸軍の大量動員は之を以て
略終了し、現在豫定してある一九四四年の最大兵力は陸軍女
子部隊(六〇三六)三十七万五千を含み八百二十三万三千八
十三である

一、一九四四年上半期に入れば動員は月平均十方で、之は専ら兵力の補充に充てられる

一、獨身男子の動員は既に略終了し、子供なき既婚男子の動員豫備も少くなり、十月に入れば子持男子の大量動員が行はれよう、本年末になれば十八歳乃至三十八歳の軍務に服し得る男子で緊急事業に従事してゐない者は其の大部分が動員されてゐることならう (五四五七)

六一一〇 米大統領佛解放委員會不承認言明
見に於て、米は佛國民が獨占領治下に在る限り現在の佛解放委員會其の他如何なる政權をも承認しない旨言明した (六〇七二)

六一一一 伯樞軸國人を強制移動
要を理由に同國在住樞軸國人就中日獨兩國人の沿岸地帯居住を禁止することとなり、サンパウロ州では四百哩に亘る沿岸地帯から強制立退きの實施を開始し、本日主として日獨兩國人二百十五名が第一回強制移住團としてサントス、サン・ヴィセンテ等から奥地へ移住した (三五一一)

六一一ニ 米議會休會

米議會は九月十四日迄休會した
(六〇九九)

六一一三 土、日本外五箇國駐劄大公使更迭
トルコ外務省は日

本外五箇國駐劄大公使の更迭を左記の如く發表した
駐日大使
ヒユースレフ・ゲレデ前駐獨大使
Huesrev Gerede

駐ハンガリー公使
シエウケット・フアド・ケチエジ前駐葡公使

駐ポルトガル公使
アギー・アクセル前駐スエーデン公使

駐スエーデン公使
ニザメチン・アヤクリ前駐サウチ・アラビア公使

駐サウチ・アラビア公使アリ・シバイ前駐華公使
(六〇七三)

六一一四 六月末現在預金部狀況
六月末に於る預金部狀況が左

記の如く大藏省から發表せられた
前年度末比較増一、八四四、三八四

合 計 一、九六九、五九九
郵便貯金及同切手收入金預金 一、四八四、〇八九三

債券收入金預金 一、九三八、〇〇一
一、四二八、四一三

一、九五、六八二
(五三一、九)

六一一五 七月十日 土曜日
クラ灣夜戰戰果 其の後の詳報に依ればクラ灣夜戰六
〇五四)の戦果は左の通りであつたことが判明した旨大本營か
ら發表せられた

七月四日

撃沈 サンタフェ型乙級巡洋艦一隻

Santa Fe Class

ストロング型大驅逐艦一隻

Strong Class

艦型未詳 一隻

七月五日

轟沈 ヘレナ型乙級巡洋艦 一隻

Helena Class

撃沈 艦型未詳乙級巡洋艦 一隻 特務艦 (六一〇六) 一隻

六一一六 米支空軍ハイフォンに來襲 佛領印度支那政廳當局の
發表に依れば、米支空軍が午前トキンキン州に飛來、ハイフォン
市を爆撃、原住民間に若干の死傷益を生ぜしめた
(五五〇一)

六一一七 獨伊潜水艦隊司令官會談 獨海軍當局の言明に依れば

滯獨中の伊潜水艦隊司令官レグナニ中將は獨海軍司令官デニツ

ツ元 Karl Doenitz 元帥と長時間に亘り會談を遂げ獨伊潜水艦

作戦の協調緊密化に關し完全な意見の一致を見た

六一一八 米大統領ローマ法王に親書を送付 口大統領はローマ

法王ピオ十二世に、米英軍は伊領土内に於る昨戰中教會其他

の宗教的施設を尊重する旨の親書を送つた (四七二六)

六一一九 米一部中等學校生徒の徴集を延期 口大統領は十八歳

から十九歳迄の中等學校生徒にして其の在學學年の半期以上を

終了してゐる場合には徴集を同學年終了後迄延期する法案に署

名した (六一〇九)

六一二〇 駐英ソ聯大使モスクワ着 駐英ソ聯大使イヴァン・マ

イスキンは空路モスクワに到着した (六〇九八)

六一二一 東條首相比島着 東條首相は晝マニラに到着、午後四

時軍政監から軍政狀況報告を受けた後マニラ・ホテルに於て比

島獨立準備委員會(五九一九)委員長ラウレル以下の各委員と

會談した

(六〇八九)

六一二二 セレベス、南ボルネオ其の他と内地間航空郵便 (11) セレ

ベス、南ボルネオ、小スンダ Lesser Sund 列島、モルツカ

Molucca 諸島相互間及此等地域と内地間の航空郵便が開始さ

れた、郵便物は業務用書類に限り、料金は二十瓦迄五十錢、六

十瓦迄に限定されてゐる (六〇九〇)

六一二三 府縣商工經濟會 商工省は北海道及岩手、千葉、山梨、

長野、岐阜、和歌山、岡山の七縣に對し商工經濟會設立命令を

發した (五七二八)

七月十一日 日曜日

六一二四 帝國海軍航空部隊ニユーイヂア島空襲 大本營發

表に依れば帝國海軍航空部隊は戰爆連合の編隊を以てニユーイ

ヂア島西北岸に揚陸中の敵を攻撃、敵戦闘機四十機を交戦、其の二

十四を撃墜した、我方未だ歸らざるもの三機 (六一一五)

六一二五 英の喪失機數發表に關する獨軍當局の言明 英空相シ

ンクレアが下院に於て獨西部占領地方面空襲の際、英は二七

六機、米は八二機を喪失した旨言明したが、獨軍當局は右に就て

獨軍高射砲部隊は六月中に英機四八五、米四發電爆機一(11)二九計六一四を撃墜した旨及確認されざる米英の喪失機數を加算すれば米英は九百乃至一千機を喪失してある旨言明した

(六〇七八)

六一二六 米陸軍長官ロンドン着 米陸軍長官スチムソンは空路

(五九三九)

六一二七 ロンドンに到着した 印度政廳は突如收容中の政

(五六一三)

六一二八 治犯人三百十八名を無條件釋放した 東條首相は空路マニラ發歸國の途

(六一二一)

に就いた

七月十二日 月曜日

六一二九

コロバンガラ島沖夜戦

大本營發表に依れば、帝國

(112)

水雷戦隊はコロバンガラ Kulanbanga 島北方海域に作戦中、夜同方面に出撃し來れる敵巡洋艦四隻以上と交戦、巡洋艦二隻を撃沈、同一隻を炎上、敵を敗走せしめた、我方の損害巡洋艦一隻大破、本海戦はコロバンガラ島沖夜戦と呼稱せられる

(六一二四)

六一三〇

シチリアの樞軸軍ジェラ港を奪回

獨軍當局の發表に

依れば、シチリアの樞軸軍は優勢なる部隊を以て十一日反樞軸軍落下傘部隊を殲滅、本日シチリア南岸の要衝ジェラ Gela 港を奪回、更に敵落下傘部隊が占據してゐた飛行場を占領し、反樞軸軍の二部隊を撃滅した

(六一〇七)

六一三一

獨東部戦線戦況

獨軍當局は、東部戦線ピエルゴロド、

オリヨール地區に於る五日以降の獨軍の戦果は俘虜二萬八千、鹵獲又は破壊した戦車千六百四十、同じく火器一萬四千に達した旨發表した

(六〇七七)

六一三二

米一日の戦費

米下院歳出委員長カノンは財務次官ダ

Clarence Cannon

ニエル・ベルの報告に基き、新會計年度に於る米軍事費が一日
二億六千五百萬弗に達する旨發表した (五八六〇)

六一三三 米の國債額と國民所得 本日のニューヨーク・ヘラル
ド・トリビューン New York Herald-Tribune 紙は米の國債と國

民所得に就て、米の國債額は遂に一千三百七十億弗に達し、一
方一九四三年の國民所得額は一千三百五十億弗と推定され、國
債額は國民所得を超過するここ二十億で、米財政史上始めての
事である旨及米參戰前即ち一九四一年六月末の國債額は四百八
十億弗に過ぎなかつた旨を述べてある (六〇二九)

六一三四 反樞軸食糧會議中間委員會 米國務長官ハルは反樞軸
食糧會議中間委員會の第一回會議が十五日華府に於て開催され
ること、なつた旨發表した (五七四五)

六一三五 米ボリヴィア間キニーネ輸入協定調印 ボリヴィア農
務省發表に依ればボリヴィア、米國兩國政府間に代用キニーネ
生産に關する協定が調印せられた、右協定に依り米はボリヴィ
アに五十萬弗を融資し、ボリヴィア國營キニーネ生産に充當し、
生産キニーネを米に賣却せしめる (五五五三)

六一三六

日獨間著作權問題に就て意見一致
日獨間に於ける著作物の翻譯を一層容易且圓滑ならしめる件に就て日獨當該官權間に於て昭和十三年日獨文化協定の規定に基く文化交流の本旨に遵ひ完全なる意見の一致を見るに至つた旨情報局から發表せられた、右に依り獨逸の著作物を翻譯するに當り著作權者の承諾を要せず日本に在る大日本著作權保護同盟に申込みば一律の翻譯使用料にて容易に翻譯の許可が得られることとなつた
(五七九五)

六一三七

東條首相東京歸着
東條首相は歸朝の途中那覇に一泊し午後三時十五分空路東京に歸着した
(六一二八)

戦争關係重要事項日誌 第二十九號
昭和十八年七月十三日—十九日

(1124)

七月十二日 月曜日

補遺 六一三八 英機スイス軍に撃墜せらる スイス軍司令部發表に依れば英軍飛行機
二機がスイス南部國境の領空を侵犯した際スイス軍高射砲隊に依り撃墜せられ
た (五九三〇)

× × × × × ×

七月十三日 火曜日

六一三九 ニューヂョーヂア島の我守備隊敵上陸軍と交戦中 七
月五日以來ニューヂョーヂア島數箇所の上陸せる敵は南北兩方
面からムンダに向つて前進中で、同島の我守備隊は之に對し反
撃を加へてゐる旨大本營から發表せられた (六一二九)
一一四〇 米ソ租賃協定 米國務長官ハルは米ソ兩國間の租賃協
定が満期となるので兩國政府間に於て近く新協定が調印せられ

る筈なる旨發表した

(五九〇一)

(1128)

六一四一 地方行政刷新強化方策活用に関する措置要綱 地方行政刷新強化方策活用に関する措置要綱が閣議に於て決定せられた、右に依り地方協議會會長は毎月一回東京に招集されることとなつた (五九八五)

七月十四日 水曜日

六一四二 ムンダ東側地區上陸米軍を撃退 大本營發表に依れば、ニューヂョーヂア島の我守備隊はルピアナ島よりムンダ東側地區に上陸を企圖せる米軍を水際に邀撃し其の舟艇二十隻以上を撃沈、殘餘を悉く敗走せしめた、尙ムンダ東方地區に進出して來た米軍の一部も亦右上陸作戰に呼應して出撃して來たが我守備隊に因り直ちに撃退せられた (六一三九)

六一四三 英印度軍損害發表 英インド事務相アメリカは下院に於て開戦以來昨年八月三十一日迄に英人將校を含むインド軍の損害は一〇一、九七九人に達する旨次の如く發表した

戦死 三二八六
行方不明 八六二八九

負傷者 九一六八
俘虜 三三三六

計 一〇一、九七九

(五七一二)

六一四四 六月中旬に於る 獨軍爆撃に因る英國民の被害 英内務省は六月中旬に於る 獨空軍の爆撃に因る英國民の損害を次の通り發表した

死者二〇一名

重傷二八四名

(三九四一)

六一四五 伊戰鬪地區を指定 伊政府は南部イタリアのナポリ及ポテンザ附近を戰鬪地區に指定する旨發表した

(五八五五)

六一四六 佛政府マルチニツク島の對米降服發表 佛政府は、米艦隊が佛領西インド諸島のマルチニツク島を封鎖した結果、同

島總督ロベール提督は島民の食糧確保の見地から遂に米政府に

(六〇八〇)

六一四七 米サウチ・アラビアに公使館設置 四日發同盟電に依れば米政府は最近サウチ・アラビアに公使館

を設置し元駐カイロ米公使アレクサンダー・カークを同公使に

任命した

六一四八 米陸軍長官英帝に謁見

米陸軍長官スチムソンは英帝
(五〇六四)
(六一二六)

デヨーチ六世に謁見した

六一四九 米物價調査局次長辭職
米物價調査局 T.S. Price Survey
Board 次長兼情報部長ロー・マクソン が調整局の
(四〇八七)

情報政策反對の理由に由り辭職した
ブラチル空相サルガドは空路華

六一五〇 ブラジル空相華府着
府に到着した
(五九五一)

六一五一 アエノスアイレス市に於てソ聯映畫上映禁止
アエノ
スアイレス市長バシリオ・ペルチネ將軍はソ聯映畫「戦ひの日」
が共産主義的色彩濃厚といふ理由で其の上映を禁止した
(五九三二)

六一五二 亡命波内閣更迭
亡命ポーランド政權首相代理スタニ
スラウ・ミコラジツクは組閣を完了した
(六〇四八)

六一五三 獨スエーデン通商協定調印
一九四三年下半年期に對す
る獨スエーデン通商協定がストックホルムに於て兩國通商代表
間に調印せられた、右に依り獨からスエーデンに對し上半期と

同様、石炭及骸炭が供給せられる

(四一〇二)

六一五四 泰國視察團入京 天羽情報局總裁の招請に應じ泰國宣

傳局長パイロト・チヤイヤナム氏以下の視察團一行が午後東

京驛着入京した (三一〇八)

六一五五 第四回中央協力會議開會 第四回中央協力會議總會が

午前九時半から大東亞會館に於て開會せられ、同會總裁東條首相は大東亞千年の運命を決するは我々の重大なる責務であり、老幼男女の別なく一人克く五人分十人分の働きをなし戦力の飛躍的増強を達成しなければならぬ旨を演説した (三五五一)

六一五六 南滿洲鐵道株式會社總裁更迭 小日山直登氏が大村卓

一氏に代り南滿洲鐵道株式會社總裁を仰付られた

七月十五日 木曜日

六一五七 帝國海軍航空部隊ルピアナ島攻撃 大本營發表に依れ

ばソロモン群島方面帝國海軍航空部隊はルピアナ島の敵障地を攻撃し甚大なる損害を與ふると共に敵機約五十機交戦、其の十

九を撃墜した、我方未歸還機十

(六一四二)

六一五八 伊宣傳相國民に警告

伊宣傳相アレサントロウ・バヴ

オリニはメツサジエロ紙上に於て、反樞軸軍がシチリア島の樞軸守備軍とは均衡のされない程の大軍を同島に差し向けてゐるの、單にシチリア島攻撃のみを目的とせず、伊半島に最も近接する地點から大陸侵略を行はんとする企圖に基いてゐる旨を伊國民に警告した (六一三〇)

六一五九 伯空相米大統領會談

ブラジル空相サルガドは白聖館

(六一五〇)

六一六〇 米經濟戰爭局創設

大統領は左記の如き要旨の大統

領令を以て經濟戰爭審議會を廢止し經濟戰爭局を創設、敵産管理局長官レオン・クローリー Leon T. Crowley を同局長官に任命した

一、副大統領を委員長とする經濟戰爭審議會を廢止し、其の權限、機能は擧げて新設の經濟戰爭局に移管す

一、從來商務省の管轄下にあつた米國商業會社、護謨開發會社、石油資源會社、ワシントン輸出入銀行及復興金融會社(二四五五)

の子會社等國外からの物資買入れ及輸入の融資機關は夫々商

務省及復興金融會社から經濟戰爭局に移管す

一、議會が經濟戰爭局の豫算を承認する迄復興金融會社は暫定的

に必要資金を經濟戰爭局に提供す

一、戰時動員局長官（五六八八）は國外經濟活動に従事してゐる

各種機關の政策及計畫を國務省の決定する外交政策に順應し

て統一、調整する義務を有す（二七〇〇）

六一六一 米ウイスコンシン州知事物價調整局の指令否認 ブエ

ノスアイレス十五日發同盟電に依れば、米ウイスコンシン州知

事グッドランドは最近州令を以て聯邦並に地方警察官が物價調

整局の指令に基きガソリン及タイヤの消費取締の爲め一般民間

自動車の検査を行ふことを禁止した（六一四九）

六一六二 米大統領の政策に對する米民衆の輿論 米ギヤラップ

輿論調査所は口大統領の内政政策並に外交政策に對する米民衆

の輿論調査を行つた結果を次の如く發表した

口大統領の内政政策を支持する者五四%

口大統領の外交政策を支持する者八三%

（五八二二）

六一六三 中央協力會議第二日
神、戦力増強生産、食糧國內自給非常増産及決戦生活）が開會
せられ全議案の審議を終了した
(六一五五)

七月十六日 金曜日

六一六四 帝國海軍航空部隊サンタクルーズ島其他攻撃 大本

營發表に依れば帝國海軍航空部隊はサンタクルーズ Santa Cruz

諸島のベニロ Tacikoro 島及ツラギ、ガダルカナルを攻撃、在

泊敵艦船に損害を與へた (六一五七)

六一六五 反樞軸空軍の空襲に因る伊國民の損害 伊軍當局は反

樞軸空軍の爆撃に因る伊國民の死傷者數を次の如く發表した

ナポリ 死者二〇四 負傷者三九〇

ボロニア 死者 九 負傷者 二〇

バルマ 死者 三 負傷者 六

レツジョ 死者 一 負傷者 四

ジエノア 死者 一 負傷者 三

サヴォナ 死者 一 負傷者 一

計 死者二一九 負傷者四二四 (四七〇三)

六一六六 伊國民に對するスヴェルト・チャイチル聲明書 口

大統領竝にチャイチル英首相は、伊本土の上空は米英空軍の支

配に歸し、海岸線は反樞軸海軍力に依り脅威されてゐる旨及伊

國民が依然フアシスト政權を存在させるなら、彼等は彼等自らの選んだ結果を甘受しなげればならない旨の聲明書を伊本國に撤布するに共に右の趣旨を放送した (六一六五)

六一六七 米海軍航空部隊副司令官任命 米海軍省は海軍少將ジ
モン・エス・マツケインが中將に進級し米海軍航空部隊副司令
官に任命された旨發表した (六〇六四)

六一六八 ウエーヴェル印度着 インド總督ウエーヴェルはイン
ドに到着した (五七〇三)

六一六九 米マルチニツク島前總督を米領に移送 米國務長官ハ
ルは記者會見に於て、マルチニツク島前總督ロペール提督は依
然彼に忠誠を誓ふ十名の佛官吏と共に米軍に依りプエルトリ
コ島に移された旨發表した

San Juan

ロペール提督はプエルトリコ島のサン・ホアンに到着した、
同島で拿捕された佛航空母艦ベアルン並に巡洋艦エミール・ベ
ルタンの艦長もロペール提督に同行した (六〇八〇)

六一七〇 佛解放委員會佛中央銀行金塊接收 マルチニツク總督
アンリ・ホペノ Henri Hoppenot は、同島に於て保管されてゐ

九條中央銀行の金塊は偽造放委員會に依り接収せられたる旨發表
した (六一一〇)

六一七一 ウイルキー次期大統領選挙に立候補 ウェンデル・ウ

イルキーはニユ・ヨークに於て明年の大統領選挙に共和黨より
立候補する意向なる旨言明した (三六四四)

六一七二 パラグアイ大統領ボリヴィア着 パラグアイ大統領イ
ビニオ・モリニゴはボリヴィアの首都ラパスに到着した (五九六三)

六一七三 中央協力會議閉會 中央協力會議總會が再開され四委
員長の報告及政府側の發言があること、最後は「勝抜奮奮」を全會
一致可決閉會した (六一六三)

六一七四 昭和十九年度豫算編成方針決定 昭和十九年度豫算編成
に關する件並に昭和十九年度重要事項豫算統制大綱が閣議に於
て決定せられ右の方針に基いて明年度の豫算が編成されること
となつた (三一六三)

六一七五 國民徵用令改正勅令案要綱 國民徵用の國家性を明確
にするため國民徵用令改正勅令案要綱が閣議に於て決定せられ

た、近々公布、八月一日から實施せられる豫定である

(五六四一)

七月

七月十七日 土曜日

六一七六 ニュイヂヨイヂア島攻防戦 大本營發表に依れば我ニ

ユイヂヨイヂア島守備隊の一部は敵第一線の後方に迂回し、夜

アイ川 *Alkasa* 東方の米軍上陸地點竝に自動車部隊を急襲し、

上陸施設及該地の敵兵力に大損害を與ふるに共に自動車部隊を

殲滅し、引續き戦果擴張中であり、又同島ムンダ附近の我守備

隊は戦車を伴ふ敵の出撃を數次に亘り撃退するに共に本日上陸

を企圖せる敵魚雷艇群を砲撃し之を潰走せしめた (六一六四)

六一七七 アイゲンビル島上空の空中戦 大本營發表に依れば、

ソロモン方面帝國海軍航空部隊はアイゲンビル *Bougainville*

島ブイン *Bain* に來襲せる敵機百六十七機と交戦、其の五十八

を撃墜した、我方の損害九機 (六一七六)

六一七八 獨海軍の黒海に於る戦果 獨軍當局は同國海軍が黒海

に於てソ聯艦船を左記の如く撃沈した旨發表した

油	六隻	二八〇〇〇噸
貨物船	二〇隻	三六二〇〇噸
小形貨物船	一六隻	七六〇〇噸
計	六一隻	八三八〇〇噸

尙右の外巡邏艇三隻、水雷艇四隻、護送艦一隻、砲艦一隻を撃沈した (六一〇八)

六一七九 西南太平洋戦況に関する米海軍長官の發表 米海軍長官ノツクスは今後南及西南太平洋戦域に於る戦況發表は總てメルボルの西南太平洋反樞軸軍司令部から行はれ米海軍省からは一切發表されないとこなつた旨發表した (四七一)

六一八〇 米歐洲野戦軍司令官任命 在英米軍當局は少將レオナード・ジエロイが少將ラツセル・ハートルに代り歐洲戦線米野戦軍司令官に任命された旨發表した (六一六七)

六一八一 地中海方面カナダ軍司令長官 カナダ首相マツケンデキングはガイ・サイモンズ Guy Simmons 少將がシチリア島を含む地中海方面カナダ軍の司令長官に任命せられた旨發表した (六一五八)

六一八二 スチルウエルの動靜 南京十七日發同盟電に依れば印

緬支米軍總司令官スチルウエルは重慶歸任後毛邦初、周至柔、徐培根其の他米支空軍參謀、隊長の聯合會議開催後、成都の空軍基地を視察最近インドに赴いた。同人は今後は主としてインドに駐在し重慶不在中は參謀長少將トマス・エイ・ハーンに事務を代行せしめることとなつた模様である (五八五八)

六一八三 亞國副大統領死去 アルゼンチン副大統領サバスタエ

イロ提督は死去した (五七八七)

六一八四 南亞總督死去 南阿聯邦總督パトリック・ダンカンは

死去した (六〇八三)

六一八五 スペルマン、ロレンソ、マルケス發 ニュヨーク大

司教スペルマンはロレンソ、マルケス發南阿に向つた (五六三五)

六一八六 錫販賣價格引下 一號錫販賣價格現行百貳八百三十圓

が四百三十圓に引下げられた

六一八七 縣商工經濟會設立命令 商工省は青森、福島、埼玉、新潟、奈良、愛媛、高知、宮崎、鹿児島、九縣に對し商工經濟會設立命令を發した (六一二三)

七月十八日 日曜日

六一八八 帝國海軍航空部隊バニコロ島攻撃 帝國海軍航空部隊
はサンタクルーズ諸島バニコロ島の敵軍事施設を爆撃した (六一七七)

六一八九 ソ聯ゲーペーウーのウクライナ人虐殺問題 ヘルシン
キ十八日發同盟電に依れば獨政府は最近國際調査團をしてソ聯
キエフ市西南約二百軒のウイニザ Vinitsa に於るゲーペーウー
に依るウクライナ人虐殺事件を調査せしめたが、同調査團に參
加したヘルシンキ大學醫學部解剖學教授ニロ・ペソーネン博
士は、現在迄に發掘された屍体は一千二百で其の内約八百を檢
證したが犠牲者の過半數はウクライナ人農夫と労働者で未だ一
万人以上の屍体が埋没されてあると思はれる、虐殺には小型の
武器が使用され死体の頭部に其の跡が残つて居り或者は生埋に
されて窒息死した模様である旨言明した (五三三六)
六一九〇 昭南特別市長更迭 陸軍司政長官内藤寛一氏が昭南特
別市長を命ぜられた (六〇一九)

六一九一 藤原行政查察使一行東京發
野驛發現地に向つた

藤原行政查察使一行は上
(五九五五)

七月十九日 月曜日

六一九二 帝國海軍航空部隊カントン島空襲
帝國海軍航空部隊
は南太平洋フエニックス諸島カントン島の敵飛行場を爆撃した
(六一八八)

六一九三 赤軍のノールウエー上陸企圖
赤軍は濃霧を利用して
ノールウエー北部のヴァルドエ南方に上陸を企圖したが獨軍沿
岸砲兵隊のため上陸用舟艇數隻を撃沈され潰走した(六〇四七)

六一九四 獨軍の東部戦線中南部に於る戦果
獨軍當局は獨軍の
東部戦線中部及南部に於て七月五日より同十九日迄の期間に赤
軍に與へた損害を次の如く發表した

捕虜 四五〇〇 戦車 四八〇〇 火砲 三二〇一
迫撃砲 一〇八〇 機關銃 三七六六 (六一三一)

六一九五 米英空軍ローマ爆撃
米英空軍爆撃機隊は午前十時五
十分頃より午後二時頃迄三時間に亘りローマ市を爆撃した

伊軍司令部發表に依れば、反樞軸空軍のローマ爆撃に因る死傷者數は死者百六十六、負傷者一千六百五十九である

伊ローマ地方軍司令官トーシヤン・ラザオ將軍は、ローマ市に戒嚴状態を施行する旨布告した (六一六六)

六一九六 ローマ法王國國務次官米代理大使會談
國務次官モンチーニ Montini は米英空軍のローマ爆撃數時間後駐

ヴアチカン米代理大使チットマンと會見抗議した (六一九五)

六一九七 ヒットラー・ムツソリーニ會談
獨總統大本營並に伊政府發表に依ればヒットラー總統とムツソリーニ首相はイタリ

北部の某都市に於て會見、軍事上の諸問題に就て討議した (五二一四)

六一九八 マルチニツク島の金塊に關する米政府の發表
當局は、マルチニツク島に在る金塊はフランス國の所有物であるから米は同島當局の諒解の下に之を保管し、佛國民解放委員會に依り他日正規の政府が生れる迄は同金塊は何者にも引渡さ

ないのが米政府の方針である旨を發表した (六一七〇)

六一九九 米大統領領商品金融會社延長法案署名
口大統領は商品

金融會社半箇年延長法案に署名した

(六〇九九)

六二〇〇

米嶺山労働組合の労働總同盟参加交渉開始 米嶺山労働組合會長ルイスは、二十日から嶺山労働組合の労働總同盟加盟に關する正式交渉を開始することなつた旨發表した

(五五九九)

六二〇一

米加經濟協定調印 米カナダ兩國政府間に於て、米政府はカナダのフォート・ノーマンよりアラスカのホワイト・ホースに至る約六百五十軒の油送管建設費を支辨し、カナダ政府は戰爭繼續中油田採掘權を米國に讓渡する趣旨の協定が調印された旨カナダ政府から發表せられた

(五七五二)

六二〇二

地方長官會議

地方長官會議が開催された

(五二五二)

六月二十九日 火曜日

補遺 六二〇三 米副大統領の復興金融會社社長の非協力態度攻撃 米副大統領兼經濟戰爭審議會委員長ウオーレスは上院豫算委員會に於て、戰略機材の輸入に就て全權を委任せられ、同關係の權限は一切復興金融會社から經濟戰爭審議會に移管されてゐるに拘らずシエシ・ジョーンズは復興金融會社(一四五五)の社長とし軍需機材の輸入に必要な資金を押へ大統領の指令に服せず經濟戰爭審議會の仕事を凡ゆる方法で邪魔したと述べた旨の報告が同委員會から發表せられた (二七〇〇)

七月十三日 火曜日

補遺 六二〇四 駐重慶政權佛外交代表ヴィシー政府を離脱 駐重慶政權佛外交代表は重慶政權に對し、同代表は佛政府との關係を斷ち佛國民解放委員會に加盟した旨を通告した (六一七〇)

七月十五日 木曜日

補遺

六二〇五

米大統領領政府首腦に官紀肅正に關する書翰送付

口大統領は各省長

官其の他政府首腦に、一九四二年八月彼は政府各機關首腦に書翰を送り政府機關の内部に於る衝突闘争は一般に公表せず大統領に報告するやう指令したるに拘らず政府部内の闘争が屢公表された旨及今後斯かる場合には公表と同時に辭表を提出されたき旨の書翰を送つた (六二〇三)

× × × × × × ×

七月二十日 火曜日

六二〇六

帝國潜水艦のサンクリストバル島南方に於る戦果 大

本營發表に依れば帝國潜水艦はサンクリストバル島南方海域に於てサンフランシスコ型巡洋艦一隻及驅逐艦三隻より成る敵部隊と遭遇、右巡洋艦を撃沈した (六一九二)

六二〇七

チロル將軍ロンドンに着 チロル將軍は空路ロンドンに

到着した (六〇七九)

六二〇八

米航空母艦進水

米海軍省發表に依れば航空母艦ネブ